

Presented by
TAMA UNIVERSITY
2020
10 /
16 Fri

Special
Symposium

裏面へ ►►

距離をとった分、見えてくるものだつてある。



ポストコロナへの指針

日本再生の基軸を考える

Speakers 講演者



寺島 実郎

学長

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授等を歴任し、現在、一般財団法人日本総合研究所会長のほか、文部科学省日中韓大学間交流・連携推進会議委員、経済産業省資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員、国土交通省国土審議会計画推進部会委員等兼任。1994年石橋湛山賞受賞。2010年4月早稲田大学名誉博士学位。

近著に、『日本再生の基軸 平成の晩鐘と令和の本質的課題』(岩波書店)、『(佐高信共著) 戦後日本を生きた世代は何を残すべきか われらの持つべき視界と覚悟』(河出書房新社)、『(寺島実郎監修) 全47都道府県幸福度ランキング2020年版』(東洋経済新報社)。

その他、主な著書は、『ジェロントロジー宣言「知の再武装」で100歳人生を生き抜く』(NHK出版新書)、『新・観光立国論—モノづくり国家を超えて』(NHK出版)、他多数。



新美 潤

学科長

1956年神奈川県生まれ。1979年、東京大学法学部卒業後、外務省に入省。経済産業省通商政策担当審議官、外務省総括審議官、衆議院事務局国際部長、在タイ大使館公使、在ロサンゼルス総領事、在ポルトガル大使等を歴任し、昨年12月退官。本年4月より現職(多摩大学グローバルスタディーズ学部グローバルスタディーズ学科長)。



TAMA UNIVERSITY
多摩大学

<https://www.tama.ac.jp>



新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、日々の生活を省みる今だからこそ知るべきキーワード「コロナとの共生」「全員参加型秩序」を軸に、皆様と一緒に地域の今後を考えます。

2020.10.16 FRI 18:00~20:10

藤沢商工会館ミナパーク 6階多目的ホール

神奈川県藤沢市藤沢 607-1 (JR 藤沢駅北口から徒歩3分)

※ソーシャルディスタンス確保のため、通常より定員が限られます。
お早めにお申し込みください。

Timetable タイムテーブル

17:30 受付開始

18:00 開会挨拶 安田 震一 副学長

18:10 来賓ご挨拶 鈴木 恒夫 藤沢市長(予定)

18:20 講演「移動と交流 一ポルトガルを例としてー」
新美 潤 学科長

18:50 休憩

**19:00 基調講演「ポストコロナの世界と日本
—新しい視座を求めて—」**
寺島 実郎 学長

20:10 閉会

Entry 参加方法

9月30日(水)までに、下記いずれかの方法で多摩大学湘南キャンパス「シンポジウム係」へお申し込みください。【先着順】

■電話 0466-82-4141

■FAX 0466-83-7917 (任意の用紙)

■MAIL sgs-sympo@gr.tama.ac.jp

※住所・氏名・年齢・職業・電話番号をお伝えください。